

2020年6月9日

各位

株式会社北洋銀行

安定的な資産形成・資産承継を実現するための取組方針  
～「お客さま第一主義」(フィデューシャリー・デューティー)の徹底～  
の2019年度の取組状況・成果指標(KPI)の結果について

お客さま本位の業務運営をより一層推進するため、2017年6月9日に策定した『安定的な資産形成・資産承継を実現するための取組方針～「お客さま第一主義」(フィデューシャリー・デューティー\*)の徹底～』(以下、本方針)の2019年度の取組状況・成果指標(KPI)の結果をお知らせいたします。

引続き、本方針に基づく「行動計画」および「具体的取組」を実践することでお客さま本位を徹底し、お客さまの安定的な資産形成・資産承継を実現してまいります。

※フィデューシャリー・デューティーとは、お客さまのニーズを正確に捉え、適切な説明や情報提供を実施し、お客さまの意向や利益に真に適う金融商品やサービスを提供することをいいます。

【公表する成果指標 (KPI)】

＜当行設定の KPI＞

- ①投資信託販売額上位 10 商品および投資対象別販売構成比
- ②投資信託商品ラインナップ状況
- ③保険商品ラインナップ状況
- ④預り資産残高（一時払保険・投資信託・金融商品仲介）
- ⑤投信積立期中振替金額およびご契約者の年齢層別口座数
- ⑥NISA 口座数推移および稼動口座の年齢層
- ⑦FP 技能士資格取得者数および取得率
- ⑧投資信託販売額の毎月分配型とそれ以外の販売比率
- ⑨お客さま向けセミナー開催回数

＜金融庁公表の投資信託の販売会社における比較可能な共通 KPI＞

- ①投資信託の運用損益別顧客比率
- ②投資信託の預り残高上位 20 銘柄のコスト・リターン
- ③投資信託の預り残高上位 20 銘柄のリスク・リターン

以上

## 「安定的な資産形成・資産承継を実現するための取組方針」に係る取組状況

2020年3月末現在

▶北洋銀行は、2017年6月9日に『安定的な資産形成・資産承継を実現するための取組方針～「お客さま第一主義」（フィデューシャリー・デューティー）の徹底～』を策定し、6つの取組方針に基づき具体的な取組を実践してまいりました。

2019年度の各取組方針に係る取組状況を成果指標（KPI）および金融庁の定める比較可能な共通KPIの結果とともにご報告いたします。

### 【取組方針1】お客さま第一に徹したコンサルティングの実践

#### ＜具体的な取組＞

- お客さまの安定的な資産形成の実現につながる投資手法をご提案し、お客さまの多様なニーズにお応えするため、商品ラインナップを拡充してまいります。
- お客さまの長期的・安定的な資産形成の実現に向け、各種の積立機能を活用し、長期分散投資の普及を図ってまいります。
- 金融に関する資格の取得を推奨する等、引続き金融のプロとしての自覚・意識醸成を図ってまいります。

#### 取組状況

- (1) お客さまの安定的な資産形成の実現につながる投資手法として、「コア・サテライト戦略」による投資信託のご提案を行っております。  
「コア・サテライト戦略」とは、運用資産を安定的運用の「コアファンド」と積極的運用の「サテライトファンド」とに分け、バランスよく組合せながら資産全体の運用効率を引き上げることを目指す投資戦略です。  
投資信託残高に占める「コアファンド」の割合は20.7%（前年同月比+5.2ポイント）となりました。また、2019年10月～2020年3月の投資信託販売額上位10商品のうち「コアファンド」は1商品となりました。ファンド名等の詳細は、P5の「投資信託販売額上位10商品および投資対象別販売構成比」をご覧ください。
- (2) 「人生100年時代」へのサポートをコンセプトとした商品（野村ターゲットインカムファンド（年3%目標分配型）【愛称：マイ・ロングライフ】）を導入。①中長期的な観点での利回り確保、②一定の分配を行いながらも「資産寿命」を延ばす、③公的年金の支払われない奇数月に隔月分配を実施などの商品性により、2019年度下期は最も販売が多いファンドとなりました。
- (3) お客さまの多様なニーズにお応えするため、商品ラインナップを見直した結果、投資信託は7商品、保険商品は2商品増加しました。引き続き、お客さまのニーズをタイムリーに捉えた商品選定を心掛け、商品の見直しを図ってまいります。商品カテゴリ別の取扱商品数については、P7の「投資信託商品ラインナップ状況」およびP8の「保険商品ラインナップ状況」をご覧ください。
- (4) 「資産分散」、「時間分散」、「長期保有」により、リスクを低く抑え、安定した収益が期待される「投信積立」のご提案を通じ、お客さまの長期的・安定的な資産形成の実現に向けたお手伝いをしております。2020年2月より「投信積立」を対象としたキャンペーンを実施しております。投信積立の実績についてはP9の「投信積立期中振替金額およびご契約者の年齢別口座数」をご覧ください。
- (5) お客さまの安定的な資産形成の実現に向けた有効な制度である、NISA（少額投資非課税制度）の利用を積極的にご案内しております。特に、少額からの長期・積立・分散投資を実現するため「つみたてNISA」の利用をお勧めしており、2020年3月末現在15,759件の口座開設をいただき、2019年3月末と比べ4,686件増加いたしました。NISAの取組状況についてはP10の「NISA口座数推移および稼働口座の年齢層」をご覧ください。

## 【取組方針2】お客様の利益を第一とした管理体制の強化

### <具体的取組>

- お客様に販売・推奨等する商品の選定時に、提供会社から申受ける手数料の水準等の取引条件について、商品選定・販売部門とは独立した「利益相反管理統括部門」(法務コンプライアンス部)が確認してまいります。
- お客様の多様なニーズにお応えするため、当行で取扱いのない商品については、当行グループ会社等をご紹介する場合があります。そのような時には、お客さまからご紹介等にかかる同意を事前にいただきます。

### 取組状況

- (1) お客様向けの「金融商品の取扱い」に関する利益相反の状況を適切に把握・管理するために制定している「利益相反管理マニュアル」に基づき、商品・サービス等を最終的に利用されるお客様の利益を害することがないよう検討し、「利益相反管理統括部門」(法務コンプライアンス部)が引き続き確認しております。
- (2) 引続き、当行で取扱いのない商品について、当行グループ会社等をご紹介する場合、お客さまからご紹介等にかかる同意を事前にいただいております。

## 【取組方針3】手数料の分かりやすい説明

### <具体的取組>

- 各種手数料にかかる考え方を明確にし、役務内容や申受け理由等を分かりやすい資料により丁寧にご説明してまいります。

### 取組状況

- (1) 投資信託においては「投資信託説明書(交付目論見書)」および「目論見書補完書面」等、保険商品においては「契約締結前交付書面」および「商品概要チラシ」等を使用し、お客様にご負担いただく各種手数料、役務内容等についてご説明しております。  
また、これから投資信託の購入を検討されているお客様向けのご説明資料「北洋投資信託ガイド」等により、投信信託購入・保有・換金時の費用(販売手数料・信託報酬等)および役務内容をご説明しております。引き続き、分かりやすいご説明を心掛けてまいります。
- (2) 2016年10月より当行が保険会社から申受ける生命保険(特定保険契約)の代理店手数料について、保険会社の同意を前提として自主的に開示しております。  
代理店手数料は、保険会社から販売代理店に支払われるものであり、お客さまから直接いただく費用ではございませんが、販売体制における透明性を高め、お客さまにより適切にご判断をいただけるよう開示しております。

## 【取組方針4】重要な情報の分かりやすい提供

### <具体的取組>

- お客さまにご提案する際に使用のご説明資料について、より分かりやすくなるよう継続的に見直してまいります。
- お客様の投資判断に必要な情報を、ホームページ等を活用しご提供してまいります。
- お客さまに分かりやすい資産運用提案ツールの充実を図ってまいります。

### 取組状況

- (1) 情報提供資料「北洋ライフプランガイド」を(2018年10月全面改訂)をはじめ、各商品毎のガイドを新たに作成(投信ガイド2018年11月、保険ガイド2019年6月、相続・資産承継ガイド2019年7月)しました。お客様のニーズに沿った資料による、分かりやすい情報提供に努めてまいります。

- (2) 投資信託提案ツール「Wealth Advisors(ウェルスアドバイザー)」を導入し、お客さまの属性や投資傾向だけでなく、結婚や住宅購入、退職等の様々なライフイベントから「ゴールベースアプローチ」に基づく最適なポートフォリオ提案を行っております。また、既に保有しているファンドを診断し、取扱ファンドによる最適なポートフォリオでリバランス提案を行うことが可能となりました。
- (3) 三井住友海上あいおい生命(株)提供の年金試算ツール「撮るだけねんきん試算」のご提供を開始しました。ねんきん定期便をスマホ・タブレットのカメラで撮影し読み取った情報から、公的年金・公的保険受給額(目安)を試算することができるツールです。  
お客さま個々のデータに基づいた現状把握を行うことで、お客さまが漠然と不安に思われている将来の年金受取や資産形成・取り崩しなどに対してコンサルティングを行います。

#### 【取組方針5】お客さまに寄りそったサービスの提供

##### ＜具体的取組＞

- お客さまにふさわしい適切なご提案を行うため、商品・周辺知識およびコンサルティングスキルの向上を図ってまいります。
- 投資・金融知識の向上に役立つための、ライフステージに応じた「お客さまセミナー」の開催、パソコンやスマートフォン等インターネットを活用した情報提供の充実を図ってまいります。
- 手軽に投資をはじめられるように、チャネルの多様化を図ってまいります。

#### 取組状況

- (1) お客さまにふさわしい適切なご提案を行うためのコンサルティングスキルの一層の向上を目指し、職員に対してFP技能士(国家資格)等の資格取得を積極的に推奨しております。  
FP技能士資格の取得状況については、P10の「FP技能士資格取得者数および取得率」をご覧ください。
- (2) 引き続き、お客さまの投資・金融知識向上のお役に立つことを目指し、資産運用、相続などライフステージに応じた「お客さまセミナー」を開催してまいります。  
特に、各営業店にてお取引先法人の従業員の皆さま向けのセミナーを中心に開催しております。  
セミナーの開催回数については、P11の「お客さま向けセミナー開催回数」をご覧ください。
- (3) 北海道新聞社主催「第2回道新 資産運用フェア」(2019年11月)に北洋証券と共同で参加。  
また、(株)東京証券取引所共催「セカンドライフセミナー」、北海道主催「事業承継セミナー」(いずれも2020年2月)を開催しました。  
今後も様々な主体と共同したセミナーを開催(参加)することで、幅広く資産形成・事業承継等のご提案を行ってまいります。
- (4) お客さまのライフプランに応じたコンサルティング機能を強化するため、ほけんの窓口グループ株式会社との業務提携に基づき、2020年3月に『北洋ほけんプラザ平岸』～ほけんの窓口@北洋銀行～3号店を開設しました(大通、琴似に次ぐ札幌市内3店舗目)。  
専門スタッフが豊富な商品ラインナップ(2020年3月末現在約90商品)の中から、お客さまのニーズやライフプランに応じた最適な商品をご提案いたします。

#### 【取組方針6】お客さま第一を実践するための体制構築

##### ＜具体的取組＞

- 「お客さま第一主義」の業務運営の浸透に向け、研修カリキュラムの充実を図ってまいります。
- 外部評価等を活用して、定着度合やお客さま満足度を把握し、評価体系や研修内容へ反映させてまいります。

## 取組状況

- (1) 2020年4月より新しい経営理念「お客さま本位を徹底し、多様な課題の解決に取り組み、北海道の明日をきりひらく」を策定し、職員一人ひとりが果たすべき役割とそれを通じて北海道の未来に貢献する使命を明確にしました。  
また、その実現のため、お客さまからの「ありがとう」を追及する～お客さまにとって真に喜んでいただけるよう、より良い提案・行動を求め続けるを行動規範の一つとして定め、より一層お客さま本位の業務運営を行ってまいります。
- (2) 職員向け研修において、FD(フィデューシャリー・デューティー)の定着を目的としたカリキュラムを実施しております。  
2018年度から実施している行内ロールプレイング大会を継続開催し、成績上位者のロールプレイングの様子を営業店で共有することで、職員の金融商品販売におけるコンサルティング意識の醸成とコンサルティングスキルの向上に努めております。
- (3) 店頭にて投資信託や保険商品、公共債等をご契約いただいたお客さまや、投資信託をご解約されたお客さまを対象とした「お客さまアンケート」実施しております(2019年7月、12月、2020年3月実施)。  
アンケートを通じ、ご提案商品の満足度や説明の分かりやすさ等を継続的に計測するとともに、お客さまの「生の声」をお聞きすることで、職員のコンサルティングの品質を向上させてまいります。

# 「安定的な資産形成・資産承継を実現するための取組方針」に係る成果指標 (KPI) の状況

2020年3月末現在

＞お客さま第一に徹したコンサルティングに努め、お客さまのライフステージに応じた商品のご提案を行ってまいります。

2019年10月～2020年3月の投資信託販売は、ファンド内で複数の資産に投資するバランスファンドのうち、人生100年時代をコンセプトとした「野村ターゲットインカムファンド」や相場の変動から資産を守りながら中長期的に安定したリターンを目指すコアファンドの一つである「リスク抑制世界8資産バランスファンド」が上位となりました。また、年末にかけての国内株式相場の上昇により、国内株式ファンドが上位に入りました。商品別には大きな偏りはなく分散されております。

## ①投資信託販売額 上位10商品および投資対象別販売構成比

### ＜投資信託販売額 上位10商品＞

(2019年10月～2020年3月)【投信積立を除く店頭・インターネット取扱分の合計】

順位	商品	投信会社名	投資対象	コアファンド <sup>※1</sup>	構成比
1	野村ターゲットインカムファンド <sup>※</sup> (年3%目標分配型)	野村アセットマネジメント	海外バランス		13.1%
2	リスク抑制世界8資産バランスファンド	アセットマネジメントOne	海外バランス	○	12.6%
3	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)	日興アセットマネジメント	海外バランス		10.7%
4	野村インデックスファンド・日経225	野村アセットマネジメント	国内株式		5.8%
5	株式インデックス225	野村アセットマネジメント	国内株式		5.4%
6	グローバル3倍3分法ファンド(隔月分配型)	日興アセットマネジメント	海外バランス		5.1%
7	新光US-REITオープン	アセットマネジメントOne	海外REIT		4.9%
8	グローバル3倍3分法ファンド(1年決算型)	日興アセットマネジメント	海外バランス		4.6%
9	日経225ノーロードオープン	アセットマネジメントOne	国内株式		4.3%
10	MHAM J-REIT インデックスファンド(毎月決算型)	アセットマネジメントOne	国内REIT		4.0%

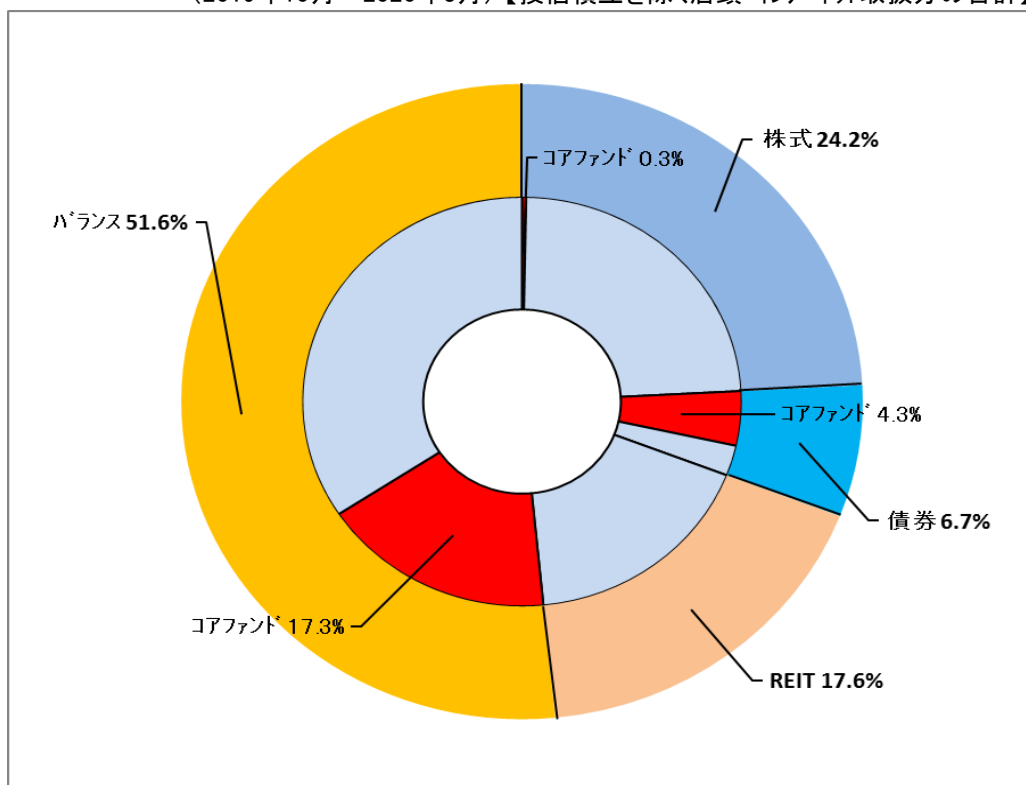
※1)コアファンドとは、当行の基準で選定した、相場の変動から資産を守りながら中長期的に安定したリターンを目指すファンドです。

(2018年10月～2019年3月)【投信積立を除く店頭・インターネット取扱分の合計】

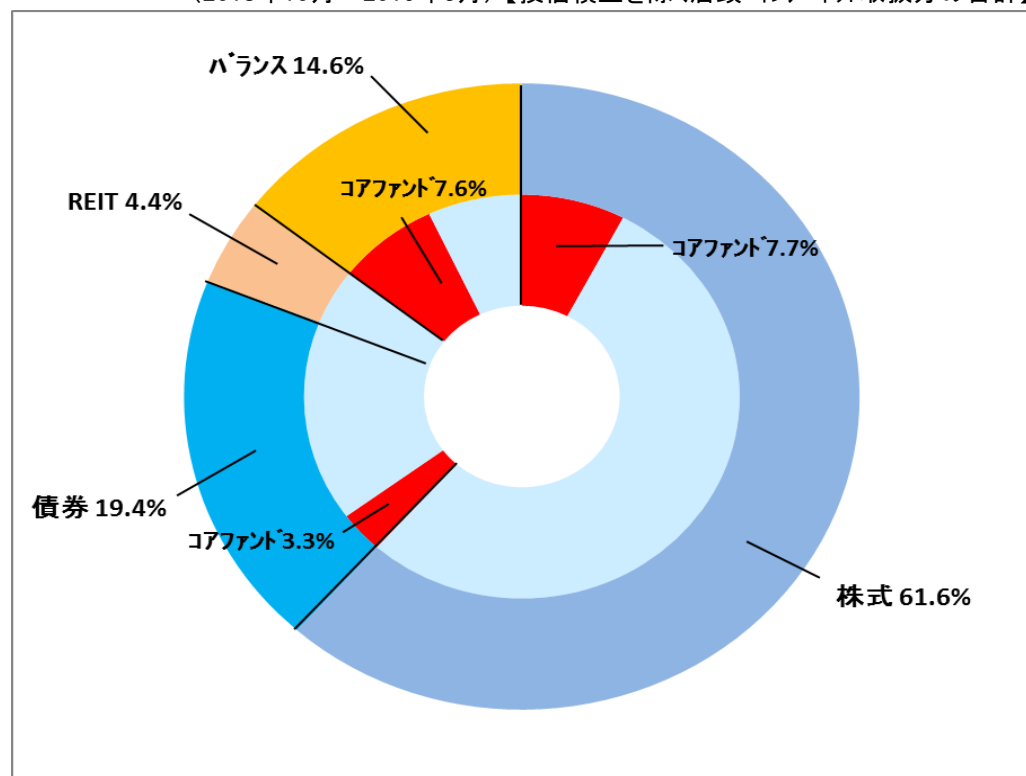
順位	商品	投信会社名	投資対象	コアファンド <sup>※1</sup>	構成比
1	新成長株ファンド	明治安田アセットマネジメント	国内株式		12.6%
2	ノルディック社債ファンド 為替ヘッジあり	野村アセットマネジメント	ハイイールド債券		9.9%
3	マイ・ウェイ・ジャパン	大和住銀投信投資顧問	国内株式	○	7.7%
4	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)	日興アセットマネジメント	海外バランス		6.3%
5	アジア・オセアニア好配当成長株オープン	岡三アセットマネジメント	新興国株式		6.2%
6	株式インデックス225	野村アセットマネジメント	国内株式		6.1%
7	グローバルAIファンド	三井住友DSアセットマネジメント	グローバル株式		5.0%
8	リスク抑制世界8資産バランスファンド	アセットマネジメントOne	海外バランス	○	4.3%
9	野村インデックスファンド・日経225	野村アセットマネジメント	国内株式		3.8%
10	日経225ノーロードオープン	アセットマネジメントOne	国内株式		2.5%

①投資信託販売額 上位10商品および投資対象別販売構成比  
 <投資対象別販売構成比>

(2019年10月～2020年3月)【投信積立を除く店頭・インターネット取扱分の合計】



(2018年10月～2019年3月)【投信積立を除く店頭・インターネット取扱分の合計】



▶ お客さまの多様なニーズにお応えするため、様々なカテゴリの金融商品を幅広くラインナップしております。2019年3月と比べ、投資信託は7商品、保険商品は2商品増加しました。

②投資信託商品ラインナップ状況(2020年3月末)

商品カテゴリ	取扱商品数		うちコアファンド <sup>*</sup> 商品数	うちインターネット専用	
		構成比		商品数	構成比
<b>株式</b>	<b>56</b>	<b>40.6%</b>	<b>1</b>	<b>14</b>	<b>56.0%</b>
国内株式	16	11.6%	1	5	20.0%
先進国株式	18	13.0%	0	7	28.0%
新興国株式	8	5.8%	0	1	4.0%
グローバル株式	14	10.1%	0	1	4.0%
<b>債券</b>	<b>41</b>	<b>29.7%</b>	<b>7</b>	<b>6</b>	<b>24.0%</b>
国内債券	5	3.6%	1	2	8.0%
先進国債券	16	11.6%	2	2	8.0%
新興国債券	9	6.5%	0	2	8.0%
ハイイールド <sup>*</sup> 債券	3	2.2%	0	0	0.0%
グローバル債券	8	5.8%	4	0	0.0%
<b>REIT</b>	<b>17</b>	<b>12.3%</b>	<b>0</b>	<b>3</b>	<b>12.0%</b>
国内REIT	5	3.6%	0	1	4.0%
海外REIT	8	5.8%	0	0	0.0%
グローバルREIT	4	2.9%	0	2	8.0%
<b>バランス</b>	<b>24</b>	<b>17.4%</b>	<b>6</b>	<b>2</b>	<b>8.0%</b>
国内バランス	1	0.7%	1	0	0.0%
海外バランス	23	16.7%	5	2	8.0%
<b>合計</b>	<b>138</b>	<b>100.0%</b>	<b>14</b>	<b>25</b>	<b>100.0%</b>

②投資信託商品ラインナップ状況(2019年3月末)

商品カテゴリ	取扱商品数		うちコアファンド <sup>*</sup> 商品数	うちインターネット専用	
		構成比		商品数	構成比
<b>株式</b>	<b>52</b>	<b>39.7%</b>	<b>1</b>	<b>8</b>	<b>42.1%</b>
国内株式	16	12.2%	1	5	26.3%
先進国株式	14	10.7%	0	2	10.5%
新興国株式	8	6.1%	0	1	5.3%
グローバル株式	14	10.7%	0	0	0.0%
<b>債券</b>	<b>41</b>	<b>31.3%</b>	<b>7</b>	<b>6</b>	<b>31.6%</b>
国内債券	5	3.8%	1	2	10.5%
先進国債券	16	12.2%	2	2	10.5%
新興国債券	9	6.9%	0	2	10.5%
ハイイールド <sup>*</sup> 債券	3	2.3%	0	0	0.0%
グローバル債券	8	6.1%	4	0	0.0%
<b>REIT</b>	<b>17</b>	<b>13.0%</b>	<b>0</b>	<b>3</b>	<b>15.8%</b>
国内REIT	5	3.8%	0	1	5.3%
海外REIT	8	6.1%	0	0	0.0%
グローバルREIT	4	3.1%	0	2	10.5%
<b>バランス</b>	<b>21</b>	<b>16.0%</b>	<b>6</b>	<b>2</b>	<b>10.5%</b>
国内バランス	1	0.8%	1	0	0.0%
海外バランス	20	15.3%	5	2	10.5%
<b>合計</b>	<b>131</b>	<b>100.0%</b>	<b>14</b>	<b>19</b>	<b>100.0%</b>



③保険商品ラインナップ状況(2020年3月末)(ほけんプラザを除く)

商品カテゴリ	店頭取扱商品数	
	商品数	構成比
<b>円建</b>	<b>6</b>	<b>24.0%</b>
定額個人年金	2	8.0%
終身保険	4	16.0%
<b>外貨建</b>	<b>19</b>	<b>76.0%</b>
変額個人年金	2	8.0%
定額個人年金	3	12.0%
終身保険	12	48.0%
養老保険	2	8.0%
<b>合計</b>	<b>25</b>	<b>100.0%</b>

うち手数料開示商品※	24	96.0%
------------	----	-------

商品カテゴリ	店頭取扱商品数		
	商品数	構成比	
平準私商品	個人年金保険	2	12.5%
	終身保険	5	31.3%
	医療・がん保険	6	37.5%
	介護・収入保障保険・定期	4	25.0%
	<b>合計</b>	<b>17</b>	<b>100.0%</b>

うち手数料開示商品※	4	23.5%
------------	---	-------

※ 外貨建保険、変額保険、市場価格調整機能を備えた保険など、市場リスクを有する商品(2016年10月より開示)。

③保険商品ラインナップ状況(2019年3月末)(ほけんプラザを除く)

商品カテゴリ	店頭取扱商品数	
	商品数	構成比
<b>円建</b>	<b>5</b>	<b>21.7%</b>
変額個人年金	0	0.0%
終身保険	5	21.7%
<b>外貨建</b>	<b>18</b>	<b>78.3%</b>
変額個人年金	3	13.0%
定額個人年金	2	8.7%
終身保険	11	47.8%
養老保険	2	8.7%
<b>合計</b>	<b>23</b>	<b>100.0%</b>

うち手数料開示商品※	21	91.3%
------------	----	-------

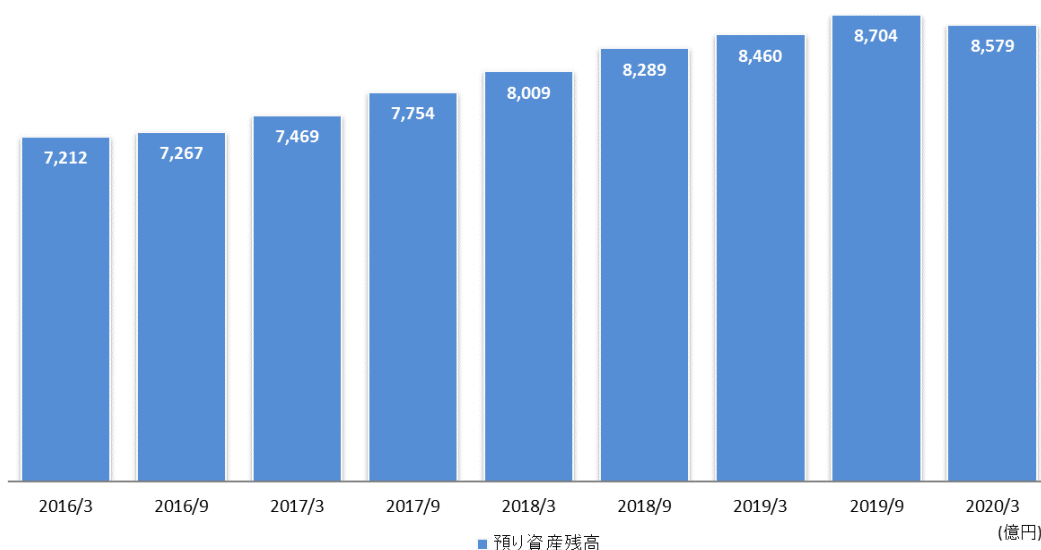
商品カテゴリ	店頭取扱商品数		
	商品数	構成比	
平準私商品	個人年金保険	3	21.4%
	終身保険	3	21.4%
	医療・がん保険	7	50.0%
	介護・収入保障保険・定期	4	28.6%
	<b>合計</b>	<b>17</b>	<b>100.0%</b>

うち手数料開示商品※	3	17.6%
------------	---	-------

※ 外貨建保険、変額保険、市場価格調整機能を備えた保険など、市場リスクを有する商品(2016年10月より開示)。

＞お客様の長期的・安定的な資産形成の実現につながるご提案により、預り資産残高の増加を図っております。2019年3月と比べ119億円増加しておりますが、2020年2月以降の投信・仲介商品時価の下落により2019年9月比では125億円減少しました。

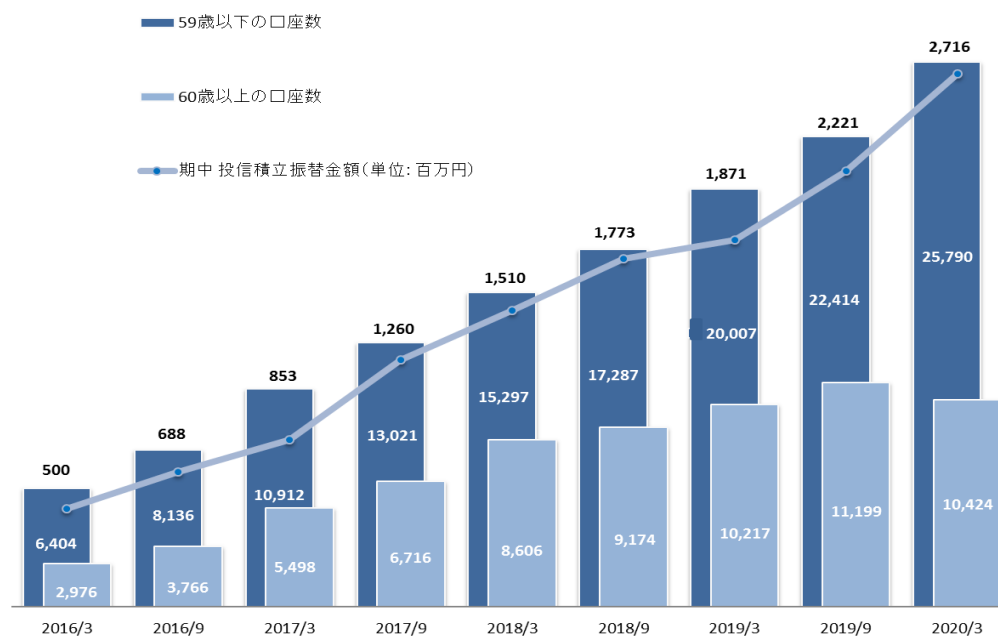
#### ④ 預り資産残高（一時払保険、投資信託、金融商品仲介）



※ 投資信託・金融商品仲介は時価により集計しています。  
 ※ 一時払保険は販売額累計額により集計しています。

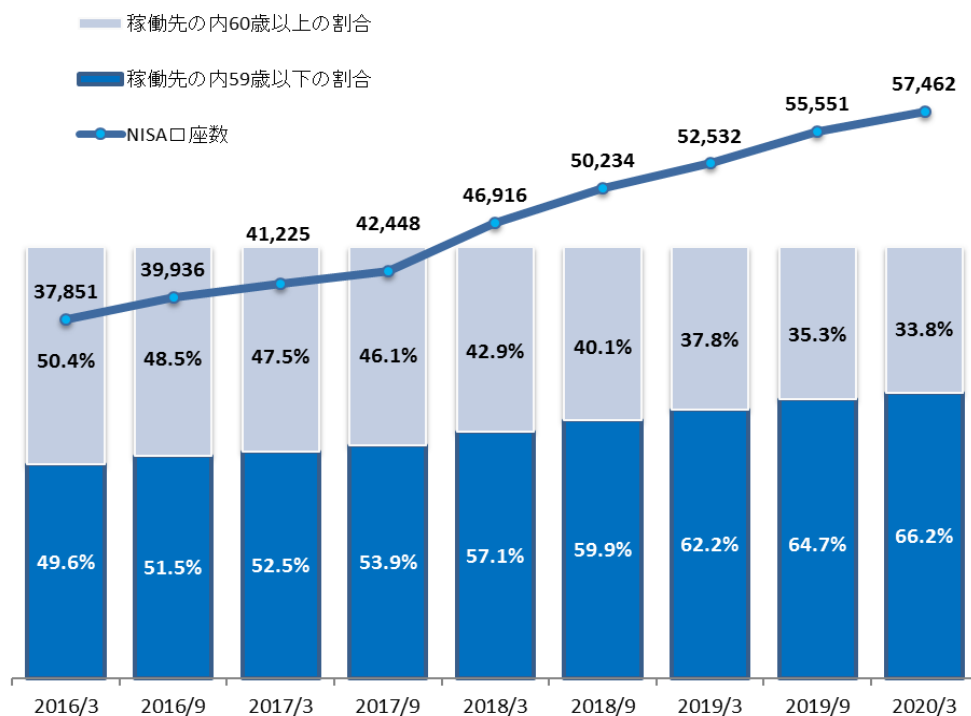
＞長期分散投資のご提案による投信積立推進の結果、2019年3月と比べ、投信積立の期中積立振替金額は845百万円増加。口座数は5,990件（うち59歳以下5,783件、60歳以上207件）増加しました。

#### ⑤ 投信積立 期中振替金額およびご契約者の年齢層別口座数



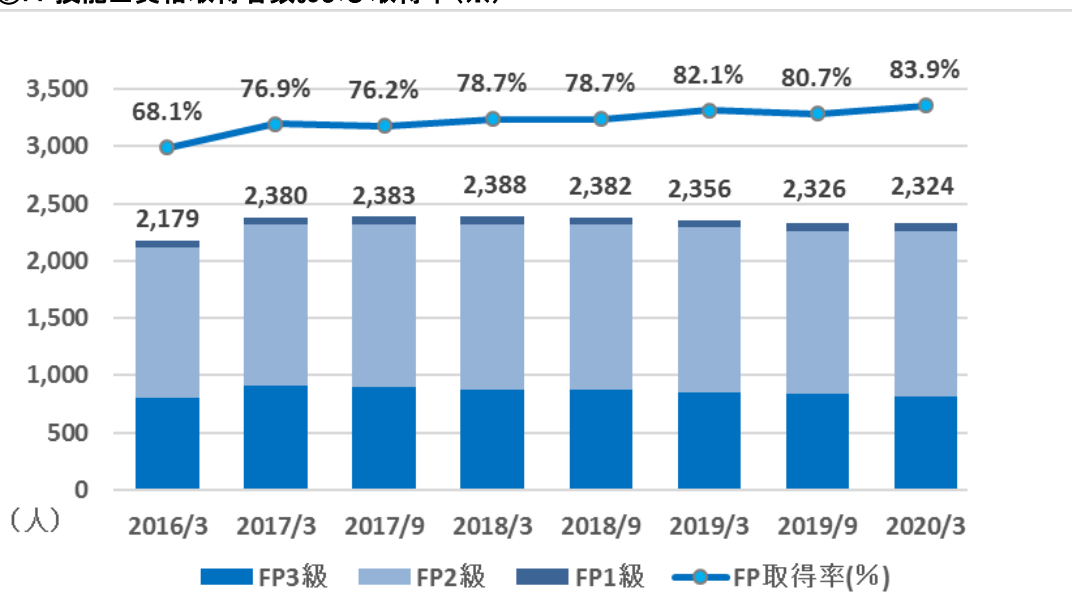
➤ 安定的な資産形成の実現を図るため、少額投資非課税制度(NISA)の普及促進を行っております。2019年3月と比べ、口座数は4,930件増加、59歳以下の比率は4.0ポイント増加しました。そのうち、「つみたてNISA」の口座数は4,684件増加し15,759口座となりました。

⑥NISA口座数推移および稼働口座の年齢層



➤ お客さまのニーズに沿った最適な商品をご提案するため、金融に関する資格取得を促進し、金融のプロとしての自覚・意識醸成を図っております。FP資格取得者比率は2019年3月と比べ、1.8ポイント増加しました。

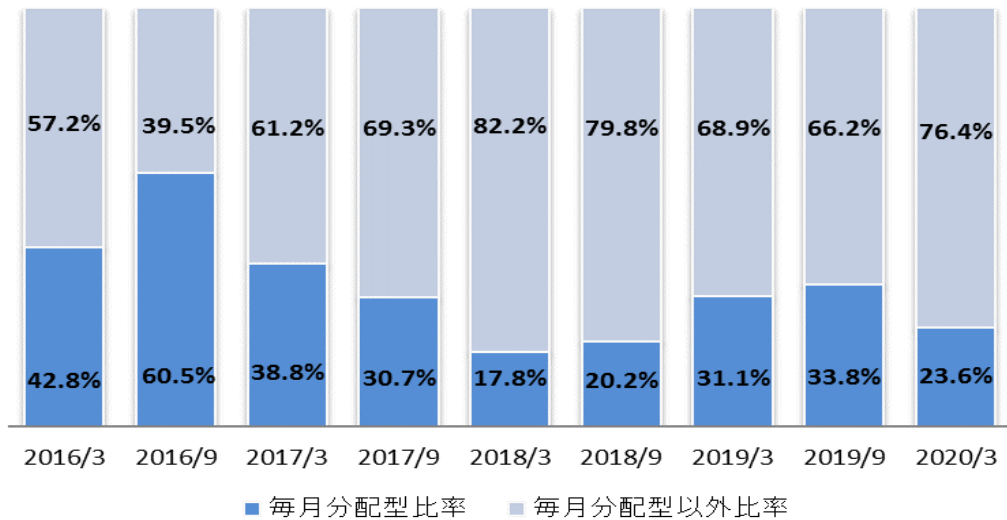
⑦FP技能士資格取得者数および取得率(※)



※取得率は従業員数(就業人員)に占める割合

＞ 投資信託における複利効果の有効性など、金融商品の仕組みや投資判断に必要な情報をご案内しております。毎月分配型の販売比率は23.6%となりました。

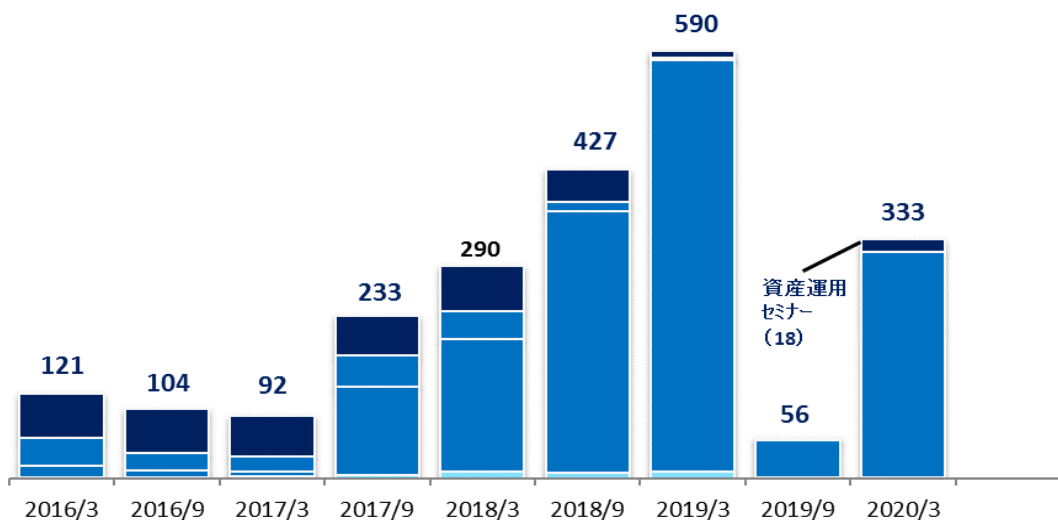
⑧ 投資信託販売額の毎月分配型とそれ以外の販売比率



※ 投信積立を除く

＞ お客さまの投資・金融知識の向上に役立つための、「お客さまセミナー」を開催しております。2018年度はお取引先法人の従業員様向けセミナーを強化し大幅に増加しましたが、2019年度上期はよりお客さまニーズに合わせた内容・対象先への変更を検討していたことから一時的に大幅に減少しました。2019年度下期は、人生100年時代を迎え、より一層お客さまの投資・金融知識の向上のお役に立てるよう、テーマ・対象先を明確にし開催いたしました。2月以降は新型コロナの影響から開催を見合わせておりますが、収束後は積極的に開催してまいります。

⑨ お客さま向けセミナー開催回数

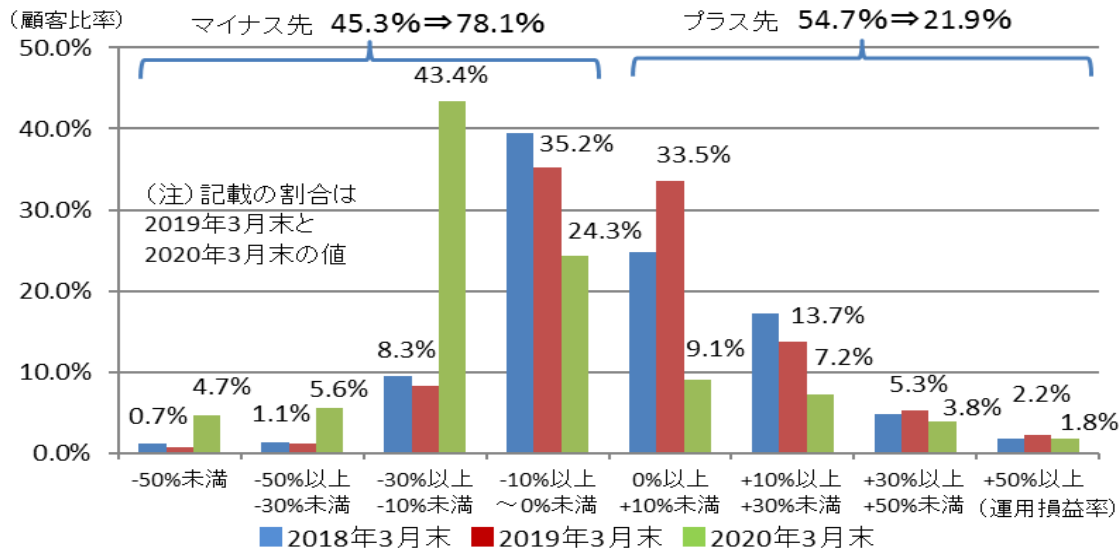


■「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」の状況について

投資信託の運用損益別顧客比率

●2020年3月末時点では2月以降の新型コロナウイルスの影響による世界的な株価等の下落により、運用損益がプラスのお客さまは前年と比べ32.8ポイント減少し21.9%となりました。

【共通KPI】 2019年度(過去3年分)



<運用損益の算出方法>

分子  
・基準日時点の「評価金額+累計受取分配金(税引後)+累計売付金額  
-累計買付金額(含む消費税込の販売手数料)」

・基準日時点までに全部売却・償還された銘柄は対象外

分母  
・基準日時点の評価金額

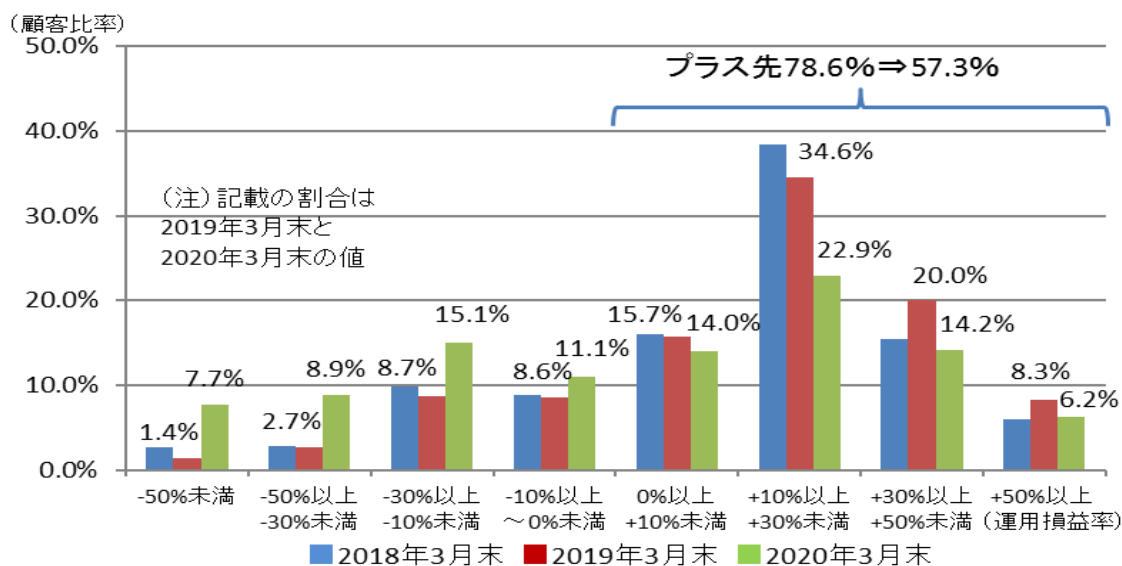
遡及期間  
・当該銘柄の購入当初まで遡及

対象口座数: 2018年3月末60,251口座、2019年3月末63,568口座、2020年3月末63,683口座

<参考指標> 平均保有期間5年以上のお客さまの運用損益別顧客比率

●平均保有期間が5年以上の場合も、前年に比べ運用損益がプラスのお客さまの割合は大幅に減少しておりますが、減少割合は21.3ポイントに留まっており57.3%のお客さまがプラスとなっています。北洋銀行では引続き長期・分散投資をお勧めしてまいります。

【参考】 2019年度(過去3年分)



<平均保有期間の算出方法>

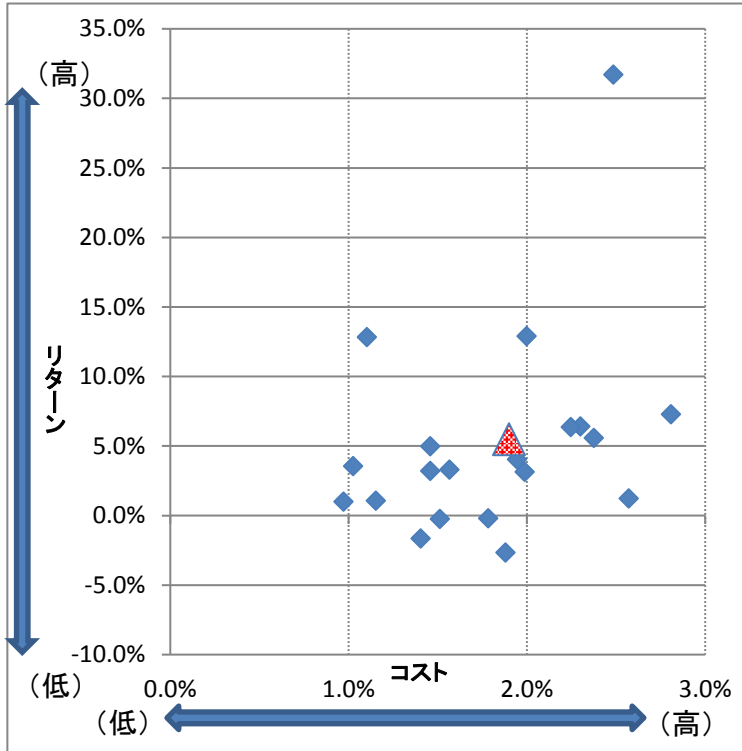
お客さま口座毎に「1ファンド毎の投資金額×当初申込日からの経過日数」を加重平均

対象口座数: 2018年3月末15,392口座、2019年3月末15,687口座、2020年3月末17,064口座

投資信託の預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン

●投資信託の預り残高上位20銘柄のリターンにつきましても、2月以降の新型コロナウイルスの影響により、前年比で6.92ポイント低下し、-0.71%となりました。またリスクは0.36ポイント上昇の13.09%、コストは0.04ポイント低下の1.90%となりました。

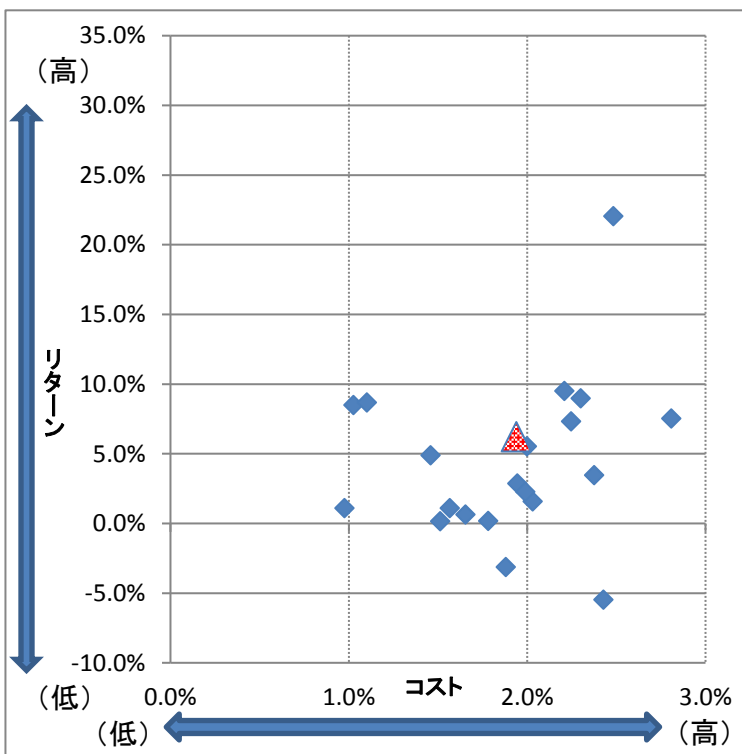
<コスト・リターン>  
【2018年3月末】



	銘柄名	コスト	リターン
①	新光US-REITオープン	2.30%	6.41%
②	アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)	2.38%	5.58%
③	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型【愛称:財産3分法】	1.46%	4.98%
④	MHAM J-REIT インデックスファンド(毎月決算型)【愛称:ビルオーナー】	1.03%	3.55%
⑤	ビクテ・アセット・アロケーション・ファンド(毎月分配型)【愛称:ノアリザープ】	2.57%	1.23%
⑥	ダイワ日本国債ファンド(毎月分配型)	0.97%	1.00%
⑦	ダイワ好配当日本株投信(季節点描)	2.00%	12.91%
⑧	明治安田外国債券オープン(毎月分配型)【愛称:夢実現(毎月分配型)】	1.57%	3.31%
⑨	高金利先進国債券オープン(毎月分配型)【愛称:月桂樹】	1.15%	1.06%
⑩	グローバル3資産ファンド【愛称:ワンプレートランチ】	1.94%	4.04%
⑪	新成長株ファンド【愛称:グローイング・カバース】	2.48%	31.71%
⑫	MHAM豪ドル債券ファンド 毎月決算型	1.78%	-0.20%
⑬	株式インデックス225	1.10%	12.84%
⑭	メキシコ債券オープン(毎月分配型)【愛称:アミーゴ】	1.88%	-2.65%
⑮	ブラジル・ボンド・オープン(毎月決算型)	1.99%	3.13%
⑯	短期豪ドル債オープン(毎月分配型)	1.40%	-1.64%
⑰	DIAMワールド・リート・インカム・オープン(毎月決算コース)【愛称:世界家主倶楽部】	2.25%	6.37%
⑱	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)【愛称:ハッピークローバー】	1.51%	-0.24%
⑲	HSBC インド オープン	2.81%	7.28%
⑳	海外国債ファンド	1.46%	3.22%
残高加重平均値		1.90%	5.48%

残高加重平均値	コスト	リターン
	1.90%	5.48%

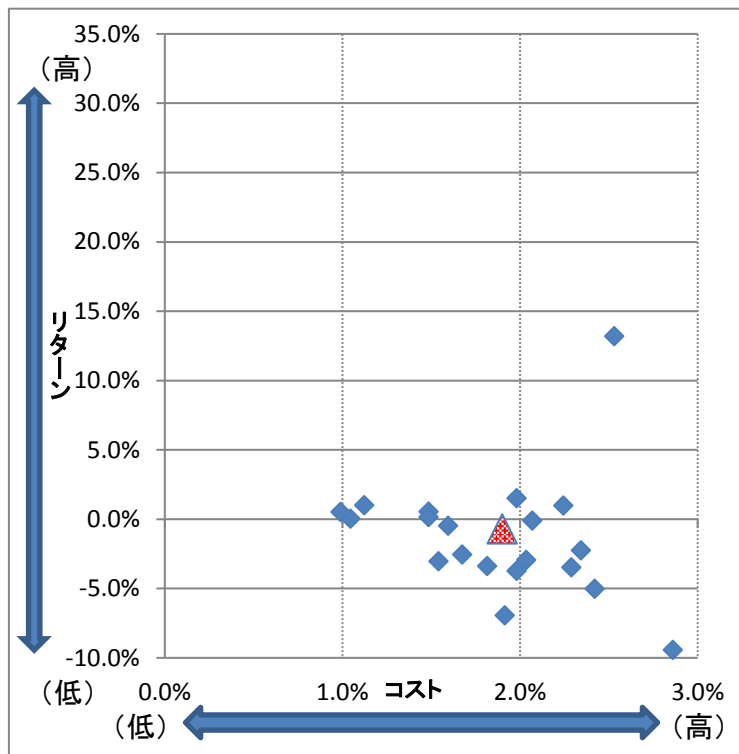
【2019年3月末】



	銘柄名	コスト	リターン
①	新光US-REITオープン	2.30%	8.98%
②	アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)	2.38%	3.46%
③	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型【愛称:財産3分法】	1.46%	4.90%
④	MHAM J-REIT インデックスファンド(毎月決算型)【愛称:ビルオーナー】	1.03%	8.51%
⑤	ニッセイJPX日経400アクティブファンド	2.21%	9.51%
⑥	新成長株ファンド【愛称:グローイング・カバース】	2.48%	22.04%
⑦	株式インデックス225	1.10%	8.69%
⑧	ビクテ・アセット・アロケーション・ファンド(毎月分配型)【愛称:ノアリザープ】	2.03%	1.58%
⑨	ダイワ日本国債ファンド(毎月分配型)	0.98%	1.11%
⑩	ダイワ好配当日本株投信(季節点描)	2.00%	5.54%
⑪	明治安田外国債券オープン(毎月分配型)【愛称:夢実現(毎月分配型)】	1.57%	1.09%
⑫	グローバル3資産ファンド【愛称:ワンプレートランチ】	1.94%	2.88%
⑬	高金利先進国債券オープン(毎月分配型)【愛称:月桂樹】	1.65%	0.65%
⑭	HSBC インド オープン	2.81%	7.54%
⑮	MHAM豪ドル債券ファンド 毎月決算型	1.78%	0.18%
⑯	メキシコ債券オープン(毎月分配型)【愛称:アミーゴ】	1.88%	-3.12%
⑰	DIAMワールド・リート・インカム・オープン(毎月決算コース)【愛称:世界家主倶楽部】	2.25%	7.32%
⑱	米国エネルギー革命関連ファンDボース(為替ヘッジなし)	2.43%	-5.46%
⑲	ブラジル・ボンド・オープン(毎月決算型)	1.99%	2.27%
⑳	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)【愛称:ハッピークローバー】	1.51%	0.15%
残高加重平均値		1.94%	6.21%

残高加重平均値	コスト	リターン
	1.94%	6.21%

【2020年3月末】



	銘柄名	コスト	リターン
①	新光US-REITオープン	2.34%	-2.24%
②	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型【愛称:財産3分法】	1.49%	0.54%
③	アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)	2.42%	-5.02%
④	MHAM J-REIT インテックスファンド 毎月決算型	1.05%	0.04%
⑤	ニッセイJPX日経400アクティブファンド	2.24%	0.99%
⑥	新成長株ファンド【愛称:グローイング・カバース】	2.53%	13.20%
⑦	株式インデックス225	1.12%	1.00%
⑧	投資のソムリエ	1.98%	1.52%
⑨	ビクテ・アセット・アロケーション・ファンド(毎月分配型)【愛称:アリガープ】	2.07%	-0.11%
⑩	明治安田外国債券オープン 毎月分配型【愛称:夢実現(毎月分配型)】	1.60%	-0.46%
⑪	ダイワ日本国債ファンド(毎月分配型)	0.99%	0.53%
⑫	ダイワ好配当日本株投信(季節点描)	2.04%	-2.93%
⑬	グローバル3資産ファンド【愛称:ワンフレートランチ】	1.98%	-3.71%
⑭	高金利先進国債券オープン(毎月分配型)	1.67%	-2.55%
⑮	MHAM豪ドル債券ファンド 毎月決算型	1.82%	-3.37%
⑯	HSBC インド オープン	2.86%	-9.42%
⑰	DIAMワールド・リート・インカム・オープン 毎月決算コース【愛称:世界家主倶楽部】	2.29%	-3.46%
⑱	DIAM高格付インカム・オープン 毎月決算コース【愛称:ハッピーグローバー】	1.54%	-3.03%
⑲	海外国債ファンド	1.49%	0.15%
⑳	メキシコ債券オープン(毎月分配型)【愛称:アミーゴ】	1.91%	-6.94%

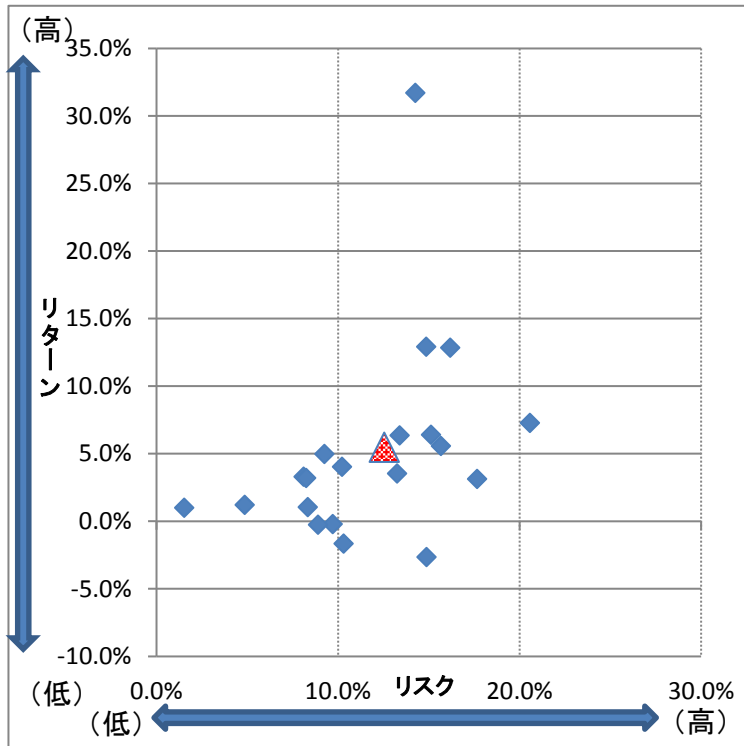
残高加重平均値	1.90%	-0.71%
---------	-------	--------

残高加重平均値	コスト	リターン
	1.90%	-0.71%

＜コスト・リターン、リスク・リターンの算出方法＞  
 対象ファンド ・2019年3月末時点で設定後5年以上の投資信託の預り残高上位20銘柄  
 コスト ・当行販売手数料率上限の1/5と信託報酬の合計値  
 リスク ・過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)  
 リターン ・過去5年間のトータルリターン(年換算)  
 ※上記の数値等は過去の実績であり、将来のコスト・リスク・リターンをお約束するものではありません。



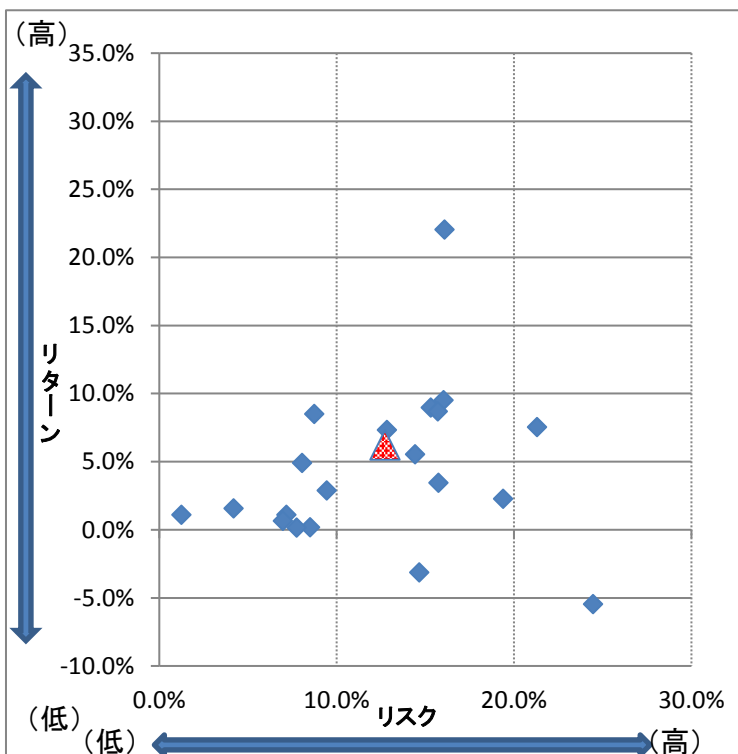
＜リスク・リターン＞  
【2018年3月末】



残高加重平均値	リスク	リターン
	12.55%	5.48%

	銘柄名	リスク	リターン
①	新光US-REITオープン	15.12%	6.41%
②	アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)	15.66%	5.58%
③	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型【愛称:財産3分法】	9.25%	4.98%
④	MHAM J-REIT インデックスファンド(毎月決算型)【愛称:ビルオーナー】	13.25%	3.55%
⑤	ビクテ・アセット・アロケーション・ファンド(毎月分配型)【愛称:ノアリザーブ】	4.86%	1.23%
⑥	ダイワ日本国債ファンド(毎月分配型)	1.52%	1.00%
⑦	ダイワ好配当日本株投信(季節点描)	14.85%	12.91%
⑧	明治安田外国債券オープン(毎月分配型)【愛称:夢実現(毎月分配型)】	8.11%	3.31%
⑨	高金利先進国債券オープン(毎月分配型)【愛称:月桂樹】	8.33%	1.06%
⑩	グローバル3資産ファンド【愛称:ワンプレートランチ】	10.21%	4.04%
⑪	新成長株ファンド【愛称:グローイング・カバーズ】	14.26%	31.71%
⑫	MHAM豪ドル債券ファンド 毎月決算型	9.70%	-0.20%
⑬	株式インデックス225	16.18%	12.84%
⑭	メキシコ債券オープン(毎月分配型)【愛称:アミーゴ】	14.88%	-2.65%
⑮	ブラジル・ボンド・オープン(毎月決算型)	17.65%	3.13%
⑯	短期豪ドル債オープン(毎月分配型)	10.31%	-1.64%
⑰	DIAMワールド・リート・インカム・オープン(毎月決算コース)【愛称:世界家主倶楽部】	13.39%	6.37%
⑱	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)【愛称:ハッピークローバー】	8.89%	-0.24%
⑲	HSBC インド オープン	20.56%	7.28%
⑳	海外国債ファンド	8.24%	3.22%
残高加重平均値		12.55%	5.48%

【2019年3月末】

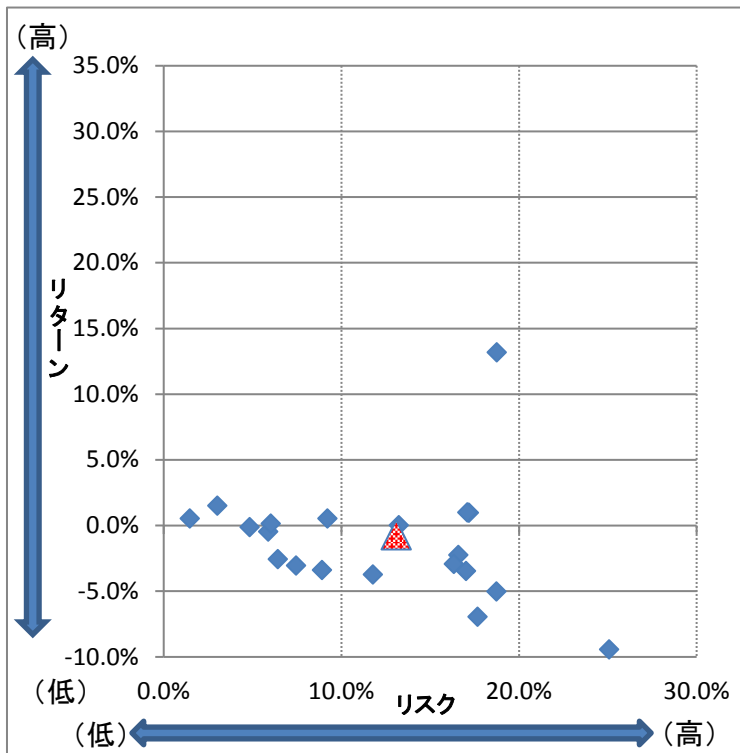


残高加重平均値	リスク	リターン
	12.73%	6.21%

	銘柄名	リスク	リターン
①	新光US-REITオープン	15.30%	8.98%
②	アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)	15.73%	3.46%
③	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型【愛称:財産3分法】	8.05%	4.90%
④	MHAM J-REIT インデックスファンド(毎月決算型)【愛称:ビルオーナー】	8.73%	8.51%
⑤	ニッセイJPX日経400アクティブファンド	16.02%	9.51%
⑥	新成長株ファンド【愛称:グローイング・カバーズ】	16.08%	22.04%
⑦	株式インデックス225	15.70%	8.69%
⑧	ビクテ・アセット・アロケーション・ファンド(毎月分配型)【愛称:ノアリザーブ】	4.19%	1.58%
⑨	ダイワ日本国債ファンド(毎月分配型)	1.25%	1.11%
⑩	ダイワ好配当日本株投信(季節点描)	14.42%	5.54%
⑪	明治安田外国債券オープン(毎月分配型)【愛称:夢実現(毎月分配型)】	7.16%	1.09%
⑫	グローバル3資産ファンド【愛称:ワンプレートランチ】	9.44%	2.88%
⑬	高金利先進国債券オープン(毎月分配型)【愛称:月桂樹】	6.96%	0.65%
⑭	HSBC インド オープン	21.29%	7.54%
⑮	MHAM豪ドル債券ファンド 毎月決算型	8.49%	0.18%
⑯	メキシコ債券オープン(毎月分配型)【愛称:アミーゴ】	14.66%	-3.12%
⑰	DIAMワールド・リート・インカム・オープン(毎月決算コース)【愛称:世界家主倶楽部】	12.84%	7.32%
⑱	米国エネルギー革命関連ファンドBコース(為替ヘッジなし)	24.45%	-5.46%
⑲	ブラジル・ボンド・オープン(毎月決算型)	19.39%	2.27%
⑳	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)【愛称:ハッピークローバー】	7.74%	0.15%
残高加重平均値		12.73%	6.21%



【2020年3月末】



	銘柄名	リスク	リターン
①	新光US-REITオープン	16.59%	-2.24%
②	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式毎月分配型【愛称:財産3分法】)	9.21%	0.54%
③	アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)	18.73%	-5.02%
④	MHAM J-REIT インデックスファンド 毎月決算型	13.24%	0.04%
⑤	ニッセイJPX日経400アクティブファンド	17.17%	0.99%
⑥	新成長株ファンド【愛称:クローイング・カバース】	18.75%	13.20%
⑦	株式インデックス225	17.09%	1.00%
⑧	投資のソムリエ	3.02%	1.52%
⑨	ビクテ・アセット・アロケーション・ファンド(毎月分配型)【愛称:アリガープ】	4.83%	-0.11%
⑩	明治安田外国債券オープン 毎月分配型【愛称:夢実現(毎月分配型)】	5.88%	-0.46%
⑪	ダイワ日本国債ファンド(毎月分配型)	1.46%	0.53%
⑫	ダイワ好配当日本株投信(季節点描)	16.33%	-2.93%
⑬	グローバル3資産ファンド【愛称:ワンフレートランチ】	11.77%	-3.71%
⑭	高金利先進国債券オープン(毎月分配型)	6.42%	-2.55%
⑮	MHAM豪ドル債券ファンド 毎月決算型	8.90%	-3.37%
⑯	HSBC インド オープン	25.07%	-9.42%
⑰	DIAMワールド・リート・インカム・オープン 毎月決算コース【愛称:世界家主倶楽部】	17.01%	-3.46%
⑱	DIAM高格付インカム・オープン 毎月決算コース【愛称:ハッピークローバー】	7.44%	-3.03%
⑲	海外国債ファンド	6.03%	0.15%
⑳	メキシコ債券オープン(毎月分配型)【愛称:アミーゴ】	17.66%	-6.94%

残高加重平均値	13.09%	-0.71%
---------	--------	--------

残高加重平均値	リスク	リターン
	13.09%	-0.71%

＜コスト・リターン、リスク・リターンの算出方法＞

対象ファンド ・2019年3月末時点で設定後5年以上の投資信託の預り残高上位20銘柄

コスト ・当行販売手数料率上限の1/5と信託報酬の合計値

リスク ・過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)

リターン ・過去5年間のトータルリターン(年換算)

※上記の数値等は過去の実績であり、将来のコスト・リスク・リターンをお約束するものではありません。